

第二、三管区合同テロ対応展示訓練の実施

平成29年12月18日から20日までの間、第三管区海上保安本部では、横浜海上防災基地において2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の海上警備に備えて、他管区特別警備隊との連携強化及び警備対応能力の向上を図るため、第二管区宮城海上保安部所属の巡視船まつしま特別警備隊と横浜海上保安部所属の巡視船ぶこう特別警備隊等による合同訓練を実施しました。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた他管区特別警備隊との合同訓練は初めてのことです。

展示訓練は、ぶこう、まつしま特別警備隊が乗船する2隻のゴムボートが連携した船隊運動をする「高速機動連携訓練」と、旅客船乗組員に爆破を企てるテロリストが紛れ込んでいるという想定のもと、特別警備隊による船上でのテロリスト制圧やテロリストが乗った逃走船を各特別警備隊が乗船するゴムボート2隻、横浜海上保安部所属の巡視艇やまゆり及び羽田航空基地所属のヘリコプターが連携した追跡をし、捕捉・制圧する「テロ容疑船捕捉・制圧訓練」の2部構成で実施し、見学者からは、迫力のある訓練に暖かい拍手が送られていました。



高速機動連携訓練の状況



船上でのテロリスト制圧の状況



テロ容疑船に対する複合艇の針路規制



ヘリコプターによる風圧規制



テロ容疑船追跡の状況



テロ容疑船上でのテロリスト制圧状況